

出演:

吉増剛造 ● 詩人、パフォーマンス

檜垣智也 ● 作曲家、電子音響演奏

演出:

七里圭 ● 映画監督

電子音響詩劇

ワーク・イン・プログレス

公開収録

2022年5月22日(日)

17:00開場 17:30開演

会場:ながらの座・座

入場料(限定20名):一般4,000円、学生2,000円

申し込み:ご予約はこちらから

※枚数に達した場合は、受付を終了いたします。



お問合せ: tapetum works

info@tapetumworks.com

言葉と庭の響き

おーとが聞こえて来ていた！
……わたくしたちの魂の別の波のおと、
とうとう、いいかい、パスイノ、イの君、

OH slashi ジェット
隅! good i
隅! good i

吉増剛造・檜垣智也

GOZO YOSHIMASU
TOMONARI HIGAKI

主催: musicircus, tapetum works

共催: 一般社団法人文化農場(ながらの座・座)

助成: 公益財団法人かけはし芸術文化振興財団、公益財団法人野村財団

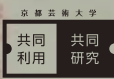
協力: ヒルヴィ音楽カンパニー、東海大学教養学部芸術学科音楽学第2研究室

京都芸術大学(舞台芸術作品のための領域横断的・実践的研究拠点)



KAKEHASHI
FOUNDATION

NOMURA 野村財団



Zaza
https://nagara-zaza.net/

吉増剛造・檜垣智也

言葉と庭の響き

電子音響詩劇 ワーク・イン・プログレス公開収録

2022年5月22日(日)
17:00開場 17:30開演
会場: ながらの座・座

出演:
吉増剛造(詩人、パフォーマンス)
檜垣智也(作曲家、電子音響演奏)
演出:
七里圭(映画監督)

入場料(限定20名):
一般4,000円、学生2,000円
申し込み: ご予約はこちらから
※枚数に達した場合は、受付を終了いたします。
お問合せ: tapetum works
info@tapetumworks.com



主催:
musicircus, tapetum works
共催:
一般社団法人文化農場(ながらの座・座)
助成:
公益財団法人かけはし芸術文化振興財団、
公益財団法人野村財団
協力: ヒルヴィ音楽カンパニー、
東海大学教養学部芸術学科音楽学第2研究室
京都芸術大学
(舞台芸術作品のための
領域横断的・実践的研究拠点)



〒520-0035 大津市小関町3-10
TEL&FAX 077-522-2926
MOBILE 090-8576-7999(橋本)
<https://nagara-zaza.net/>



- JR 大津より徒歩15分
- 京阪電鉄京津線「上栄町」より徒歩7分
- 名神高速「大津」または「京都東」より車で5分、またはR1号線→R161号線で。
- コインパーキング「Times 大津日赤病院前」が座・座から徒歩3分程度のところにあります。22台駐車可です。

詩人・吉増剛造のライブ・パフォーマンスと作曲家・檜垣智也による空間音楽を、映画監督・七里圭による演出で公開収録を行います。本企画は、2019年からスタートした、新しい電子音響音楽詩劇(サウンド・オペラ)の制作プロセスの一環で、今回はその上演材料となる収録を特別に公開で行います。会場は、滋賀県大津にある三井寺の庫裡の一つだった「元・正蔵坊」(登録有形文化財橋本家住宅)と古庭園がある「ながらの座・座」。ここの美しい庭と建築の中で、吉増と檜垣による言葉の響きを統合させ、虚と実、光と影、音とこだまの狭間に立ち上がるその一瞬の奇跡をお客さまとともに見守りたいと思います。

吉増剛造 詩人、パフォーマンス Gozo Yoshimasu



「背」(2021/62分/監督:七里圭)より

1939年東京都生まれ。1964年に『出発』でデビューして以来、日本を代表する詩人として、現代詩の最先端を疾走し続ける。主な詩集に『黄金詩篇』(1970年)、『火花の家の入り口で』(1995年)、『怪物君』(2016年)など多数。2015年、日本芸術院賞・恩賜賞、日本芸術院会員。2006年から映像作品「gozo Ciné」を発表。2016年には東京国立近代美術館にて〈声ノマ 全身詩人、吉増剛造展〉が開催される。朗読パフォーマンスの先駆者としても知られ、若手アーティストやミュージシャンとのコラボレーションも精力的に行っている。

檜垣智也 作曲家、電子音響演奏 Tomonari Higaki



Photo: Ryuhei Yokoyama

1974年山口県生まれ。愛知県立芸術大学大学院修了。博士(芸術工学、九州大学)。世界中のアコースティックを演奏しながら、創作・研究・教育活動を行っている。ハーバード大学、ケルン大学、Futura音楽祭等で招待公演。フランス国立視聴覚研究所音楽研究グループ、回路の詩神、高橋アキ等から作品の委嘱をうける。Motus、Engine booksから3枚のソロCDをリリース。第5回国際リュック・フェラーリ・コンクール最高賞(2003年)、第18回文化庁メディア芸術祭審査委員会推薦作品(2014年)、大阪文化祭奨励賞(2021年)など受賞、入選多数。東海大学准教授、大阪芸術大学客員教授。

七里圭 映画監督 Kei Shichiri

1967年生まれ。映画監督。早稲田大学卒。代表作は「眠り姫」(2007年/サラウンドリマスター版2016年)。建築家と共作した「DUBHOUSE」(2012年)が国際的な評価を受ける。近年は、他ジャンルのアーティストとのコラボレーション作品も多く手掛け、「音から作る映画」プロジェクト(2014-2018年)、「シネマの再創造」(2019年-)など実験的な映画作り、映像パフォーマンスにも取り組んでいる。最新作は今年劇場公開される、初の長編ドキュメンタリー「背 吉増剛造×空間現代」。また、早稲田大学にオープンした村上春樹ライブラリーのイメージ映像も手掛けている。

<https://www.youtube.com/watch?v=7WmtliXLi4c>



◎新型コロナウイルス感染拡大予防について

「ながらの座・座」では、新型コロナウイルス感染拡大予防についてガイドライン(公益社団法人全国公立文化施設協会発行)に対応して下記のような対策をとっています。入場は少人数ずつ、スタッフが誘導/手指の消毒のための備品設置/スタッフ・来場者ともマスクの着用/ご協力のほどよろしくお願いたします。